

申請番号	#1	#2	#3	#4	#5	#6	#7	#8
研究代表者	阪大太郎	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
研究責任者	吹田教授	○○教授	○○准教授	○○教授	○○特任	○○教授	○○教授	○○教授

①研究課題の学術的重要性・妥当性	#1	#2	#3	#4	#5	#6	#7	#8
学術的に見て、推進すべき重要な研究課題であるか	5	5	1	5	5	5	5	5
研究構想や研究目的が具体的かつ明確に示されているか	4	4	4	4	1	4	4	4
②研究計画・方法の妥当性	#1	#2	#3	#4	#5	#6	#7	#8
研究目的を達成するため、研究計画は十分練られたものになっているか	5	1	5	1	5	5	5	5
計画どおりに進まないときの対応など、多方面からの検討状況は考慮されているか	2	2	2	2	2	1	1	5
経費配分は妥当なものか	2	2	1	2	2	2	2	1
③研究課題の独創性及び革新性	#1	#2	#3	#4	#5	#6	#7	#8
研究対象、研究手法やもたらされる研究成果等について、独創性や革新性が認められるか	2	2	2	2	1	2	5	2
④研究課題の波及効果及び普遍性	#1	#2	#3	#4	#5	#6	#7	#8
該当分野の進展に対する貢献、新しい学問分野の開拓等、学術的な波及効果が期待でき	2	2	1	2	2	2	2	1
科学技術、産業、文化など、幅広い意味で社会に与えるインパクト・貢献が期待できるか	2	2	2	2	5	2	2	2
⑤研究遂行能力、研究環境、研究予算の適切性	#1	#2	#3	#4	#5	#6	#7	#8
研究代表者や分担者の現在の研究内容などから、研究遂行能力を有していると判断でき	4	4	4	4	4	4	4	4
研究計画の遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等、研究環境は整っているか	4	4	4	4	4	4	4	1
⑥プログラムの趣旨との関連性	#1	#2	#3	#4	#5	#6	#7	#8
融合研究により新しいイノベーションにつながる可能性をもつか	5	2	5	2	1	5	3	5
⑦在籍研究室での研究との関連性および相違点等	#1	#2	#3	#4	#5	#6	#7	#8
研究代表者の在籍研究室での研究との関連性および相違点等が示されているか	3	3	3	3	3	3	3	3
計	40	33	34	33	35	39	40	38

コメント(任意)

- #1
- #2
- #3
- #4
- #5
- #6
- #7
- #8